

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

第 22 回文法研究ワークショップ

「文法研究とデジタル・ヒューマニティーズ (1)」

開催のお知らせ・募集要項

デジタル・ヒューマニティーズ (DH、デジタル人文学、人文情報学) は人文学的問題に情報学的手法を適用する学際領域であり、文法研究においてもデジタル技術に基づく研究が近年進展を見せています。本ワークショップシリーズ「文法研究とデジタル・ヒューマニティーズ」では、若手研究者が中心となり、文法研究と DH をめぐる問題について議論を行います。第 1 回目のワークショップでは、DH とはどのような領域であるか、デジタル化の目的には何があるか、という問いを中心に各発表者が自身の研究を踏まえながら発表を行います。その発表をもとに参加者全員で文法研究と DH の接点について理解を深めることを目的にしています。上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時：2023 年 3 月 20 日 (月) 13:00~16:00
2. 開催方法：ハイブリッド開催  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 大会議室 (3 階 303 室)  
または ZOOM 会議室 (参加情報は開始 1 時間前までに登録者にお送りします)
3. プログラム：12:45 開室  
13:00~13:30  
倉部慶太 (AA 研)・高橋洋成 (TUFiSCo)  
「文法研究とデジタル・ヒューマニティーズ」  
13:30~14:20  
宮川創 (国立国語研究所)  
「デジタル・ヒューマニティーズの手法と実践：言語データ (テキストコーパス・音声・動画) を中心に」  
14:30~15:20  
塚越柚季 (東京大学大学院)  
「言語学における機械学習、AI の可能性」  
15:30~16:00  
参加者全員  
全体討論  
司会：高橋洋成 (TUFiSCo)
4. 参加資格：上記のテーマに関心のある研究者・学生  
※ 大学院生以上を原則とします。それ以外の方についてはメールでご相談ください。
5. 定員：対面参加 20 名程度 (オンライン参加の上限はありません)

6. 参加申込方法：下記 URL にアクセスして、ご登録ください。

なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。

<https://forms.gle/ypkDVNT1i16nrjBK6>



7. 申込締切：3月17日（金）正午（ただし定員に達し次第締め切ります）

8. 問い合わせ先：

「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して（DDDLing）」事務局

dddling-office [at] tufs.ac.jp（[at]を@に変えて送信ください）

9. その他：

・ワークショップは日本語でおこないます。

・参加は無料です。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. 問い合わせ先」までご連絡ください。

※文法研究ワークショップは、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、情報共有を行なうことを目的としたワークショップです。過去のワークショップにつきましては、以下をご覧ください。

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/grammar-wr-ws>

共催：

- 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 基幹研究「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して（DDDLing）」
- TUFUS フィールドサイエンスコモンズ（TUFiSCo）
- 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 情報資源利用研究センター（IRC）

以上